



第 7 8 号

令和3年3月12日

発行所 寒沢公民館
責任者 山本 勝文
編集 広報部
印刷所 北信ローカル

希望の年に

寒沢東区長 中山久匡



新年あけましておめでと
うございます。
今年の地区作業や催し
は、新型コロナウイルス感
染拡大の中で、区民の皆様
の安全を最優先に鑑みたり

どんどん焼きに参加して

山ノ内中3年 田川 未来

今年のだんどん焼きも例
年通り、秋に中学生と役員
の方でカヤ刈りをし、どん
どん焼きは、雪の晴れ間の
1月11日に行われました。
私たち小中学生は、大人
の方々に協力してもらい、
お正月の間飾られていたし
め縄やだるまさんなどを集
めました。どうやら、今年
はだるまさんの数が例年に
比べて少ないような気がしま
した。
一方、どんどん焼きのや

ぐらは、役員の方と、協力し
た大人の方々によって完成
していききました。
集めただるまさんやしめ
縄は、やぐらにきれいに飾
り付けられています。
夕方暗くなってから、い
よいよどんどん焼きが始ま
ります。大人の方数名と、中
学生がたいまつでやぐらに
火をつけました。すると、あ
っという間に真っ赤な炎が
立ち上がり、天に向かって
すいこまれていきました。



還暦を迎えて

鈴木 まさ代

気がついたら5回目の丑年が巡ってき
て60才になります。
なんだか他人事みたいで実感がわきま
せんが。
これからもできるだけ歩いたり体を動
かしたりして元気でいたいと思います。

還暦を迎えるにあたって

依田 昌子

この世に生を受け60年たとうとしていま
す。子供の頃から今現在まで「還暦」を迎
える自分を想像した事がなく過ぎてきました。
「人生100年時代」と言う言葉を良く耳に
しますが、60歳という年齢はまだまだ若い
です。還暦を憂鬱な気分で迎えるのではなく、
これからやっとな人生を楽しめるといった前向
きな気持ちで迎えたいと思います。
今はこんなご時世で大変な時ですが、終
息した時には家族で旅行したいと思いま
す。

不盡野神社屋根葺き替え工事の経過について

1 実施に当り

当社殿の屋根瓦は昭和34年伊勢湾台
風により境内の御神木が倒れ屋根等傷
んだ為、翌年の昭和35年度(1960年)に茅
葺屋根からセメント瓦に葺き替えたとの記
録が社殿内に記されていました。

葺き替え工事につきましては平成10
年(1998年)に最初の見積り徴収が行われ
その後、保守・点検をしながら平成24年
度より屋根修理費用としての積立金が始
まりました。そうした中でセメント瓦の
葺き替えから約60年が経過し老朽化が顕著と判断すると共に、令和元年度(2019年)が
御代替わりの佳節とのこともあり記念事業として進めることを協議決定しました。

事業を実施する上で『建設委員会』を立ち上げ事業費・資金計画等協議し、事業資金
については積立金を充て、不足金はJA長野より借入をして賄う事とし工事業者の選定
及び工事期間等を決定し着手しました。

2 工事中の経過

屋根葺き替え工事を実施するにあたり、ご神体を本殿から一旦、仮の御殿にお遷りい
ただき、竣工時に再び本殿にお遷りいただく遷座祭を斎行しました。

仮殿遷座祭は令和元年7月14日午後8時より斎行(仮殿は氏子総代長 白鳥金次宅)

本殿遷座祭は令和元年9月6日午後8時より斎行

工事内容)瓦屋根工事、木工事、社木枝落し、境内整備。

工事期間)令和元年7月16日～令和元年9月6日まで施工業者様のご尽力により、例祭
日(9月8日)に間に合いましたこと厚く御礼申し上げます。

3 氏子の皆様へ

社殿の屋根葺き替え工事という大事業(記念事業)が完工出来ましたこと、総代当番と
して皆々様に衷心より感謝と御礼を申し上げます。不盡野神社におきましては、これか
ら歴史を更に積み重ねて行きます。何処かに傷みの生じることが予測されますので、
これからもご理解・ご協力をお願い申し上げます。経過報告とさせていただきます。

令和2年度顧問氏子総代 鈴木 直彦



寒沢川災害復旧工事完了報告

寒沢東区土木委員 小林 能人

令和元年10月



台風19号による記録的な豪雨は、千曲川や支流の氾濫のみならず山沿い地域で、土砂災害をもたらした。

当区内を流れる寒沢川でも土石流が発生して、護岸が崩れ落ち、幸いにも家屋などに被害はなかった。

区としては、被害の状況を調査し被害箇所の復旧について関係箇所との調整を行い、強固な護岸工事が完成した。

今後、大雨時の被害は回避されるのではないかと考えられます。



位置図



災害状況写真



災害復旧工事完了写真

工事費	
国費補助	16,951,000円
町単位	1,559,800円
工事監理	
長野県建設技術センター	
施工	
下田土建(株)	



謡を生涯の糧として精進されている生玉恵一さんにお聞きしています。

○前号に続いて、もう一つの楽しみをお願いします。

それは一泊二日の奉納旅行です。これは2年に1回実施しており、佐野、菅、寒沢とそれぞれ持ち

回りで、兒玉先生に教わりながら計画を立て実施しています。謡の舞台となった所で謡を奉納するので、やっ

でたつても一人で謡うような力が付かず、いつも山本勝文さんや、湯本市蔵さんたちに助けていただいていたのが一杯で、恥ずかしい限りです。



謡の奉納を終えて(鞍馬寺にて)

令和2年度 新型コロナ禍の中 事業活動を振り返って

今年度は年度当初から新型コロナウイルスで感染防止対策、特に不特定多数の人が一同に会する行事、活動は好ましくないとの事(所謂三密回避)で事業内容縮小や中止の方向を含めながら進めて参りました。

寒沢分館主催事業では、お花祭り、マレットゴルフ大会、組対抗ソフトバレーボール大会等中止となりました。

南部公民館主催事業では、小池峠トレッキング、そば打ち体験、盆野球大会、文化祭等中止となりました。

長寿を祝う会については内容を変えて行いました。

当分館で実施できたのは1月11日の「どんどん焼き」で大勢の皆さんの参加のもとに盛大に出来ました。

11月に育成会と行った準備のカヤ刈りが無駄にならずホットしました。

ただ、恒例のお神酒、甘酒の振る舞い、直会等は残念ながら中止となってしまいました。

令和3年度は禍を脱して事業活動が円滑且つ盛大に出来る事を願っています。

寒沢公民館長 山本 勝文

福祉功労者表彰を受賞して

白鳥 十三吉

福祉功労者として、感謝状をいただきました。が、特に何かをした訳でもないのに、恥ずかしい方が先です。昨年コロナで非常事態宣言が出た折に、特別定額給付金が出ました。ありがた

喜寿を迎えて

白鳥 秋子

今年、喜寿を迎える事が出来てうれしく思います。コロナ禍で日常生活に支障のある年でしたが、9月20日に館長さんより、喜寿の賞状を家まで届けていただきました。ありがたくいただきました。

これも前向きに、少しでも体を動かし、これよりも悪くならない様にしていきたいものです。これからも、区民の皆様にお世話になりながら、日々すごせることを願っています。皆様ありがとうございました。



た。唯それだけの事です。近頃、核家族化が進み高齢者世帯がふえ、親子、他人の助け合う方法が変わってきております。社協はその辺の事を担っておられます。いずれ私も福祉の厄介になるかも知れません。出来る時に出来る事をやりたい。と思っています。ありがとうございます。



あじの日の白鳥様ご夫妻

白鳥十三吉様、秋子様ご夫妻におかれましては、2月1日ご自宅火災によりお亡くなりになられました。深く哀悼の意を表します。この寄稿は、直前の1月31日に公民館宛お届けいただいたものです。公民館報への掲載にあたっては、公民館長以下熱慮いたしました。故人様のご趣旨を尊重させていただきます。予定通り本紙に掲載させていただきます。